

新報 東京文工員組合、二十二日、冷村調子の發表、日本新報、

一、日本新報、東京文工員組合の又調子

は、本日、東京文工員組合の又調子、

東京文工員組合の又調子、六月二十一日、

東京文工員組合の又調子、六月二十一日、

東京文工員組合の又調子、六月二十一日、

東京文工員組合の又調子、六月二十一日、

東京文工員組合の又調子、六月二十一日、

東京文工員組合の又調子、六月二十一日、

東京文工員組合の又調子、六月二十一日、

東京文工員組合の又調子、六月二十一日、

財團協議會福岡出張所

財團協議會福岡出張所

業労働組合に善處方を依頼した。

西産に在りては執行委員長青野武一、日本無産黨幹部松本

昇の兩名が協議をなし六月二十五日午後三時頃被解雇者代

表五名を伴ひ會社本事務所を訪問し吉田工場課長に會見を

申込みたる處不在の爲谷尾業部長に面會解雇反對を申述べ

翌二十六日午前九時再度會社を訪問したるも既に發表済な

る爲如何とも仕難しと嘆曲に會見を拒絶せられた。

組合は會社の不誠意に憤慨し同日午後營業執行委員會を開

き出席者四名を以て協議したる結果聲明書の發表を決議し

即時大毎、大朝、福日、九日等各新聞社支局に發表すると

共に二十七日商工大臣、縣警察部長並日鐵従業員組合に郵

送したのである。

二十八日第二回緊急執行委員會を開催アデピラ一萬枚を印